

第6回 南幌町総合計画策定審議会<議事概要録>

日 時 平成28年12月21日(水)
午後1時30分から5時00分
場 所 役場3階 各種委員会室

【出席者】

委 員: 13名

佐々木会長、小松副会長、小友委員、川西委員、
小林委員、作間委員、三步委員、清水委員、
清野委員、千成委員、田中委員、本橋委員
和田委員

事務局: 3名

森課長、渡部主幹、山中主事

【欠席者】

委 員: 2名

伊藤委員、小野田委員

1 開 会 事務局	本日はお忙しい中、ご出席頂きましてありがとうございます。 第6回南幌町総合計画策定審議会を開催いたします。委員につきましては2名欠席のご連絡をいただいております。開会にあたりまして、会長よりご挨拶よろしくお願ひします。
2 会長挨拶 会長	皆さん、大変ご苦勞様です。1年も早いものであと10日ほどで今年もおしまいです。皆様におかれましても何かとお忙しい中、第6回総合計画策定審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。今日で総合計画の策定も概ね終わりに近づいてきていますので、いろいろな審議が入ってくるかと思ひます。重点的な審議事項も抱えてござひますので、時間を取りながら皆様方と細かく審議ができればいいのかなと考えてござひます。皆様方から活発なご意見を頂戴したいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。 (以降会長による進行)
3 協議事項 会長	(1) 第6期総合計画 基本計画・事務事業について 議案3の協議事項に入りたいと思ひます。(1) 第6期総合計

	<p>画基本計画・事務事業について事務局よりお願いします。</p> <p>事務局より「【第6期総合計画】ワーキンググループ提案事業 検討状況報告書」について説明。</p> <p><質問・意見></p>
会 長	<p>ここまででご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p>
委 員	<p>公設学習塾開設事業についてですが、この開設事業は教育委員会の事業だと思うんですけど、開設する上で所管は教育委員会になると思いますが、学校が主体になるということでしょうか。開設する責任は学校になるのか、それとも教育委員会になるのかどちらでしょうか。</p>
事務局	<p>あくまでも教育委員会といいますか、行政主体の事業でございまして、生涯学習課学校教育グループが主体的にこの事業を進めまして、業務の手法と致しましては、学習塾へ業務委託する方向で検討を進めているところです。ただ、当然教育委員会、生涯学習課が主体といたしましても、先ほど説明させていただきましたとおり、学校との連携、協力といった部分は不可欠になると思いますので、十分協議しながらこの事業を進めていくと考えてございます。</p>
委 員	<p>現状の課題として、やむを得ずこういう事業をやらざるを得ないという現状はわかります。これは、学校教育の一環として行われるとなると課題なりいろいろなものが出てくる気がします。それで、責任主体がどこにあるのかということをお聞かせいただきました。</p>
委 員	<p>年間の予算として、300万円近い予算を組むことになりましたが、そうならば、実績を残すことを目指すなら、常駐の方、常勤講師という形できちんと置いた方が成果は出るのではないかと感じます。</p>
事務局	<p>常勤の講師ということですが、例えばイメージになりますが、それは放課後にその常勤の先生が補修を行うというイメージでしょうか。</p>

委員	<p>数学、算数というのは一つ一つの積み重ねがないといけない、一つ抜けてしまうと先に進めない、戻らなければいけないという特徴がありますよね。それを小学校の4年生から始めるのはいかがかと思えます。そうなる前に1年生からきちんと組み立ててやった方が効率がいいのではないかと思えます。</p>
事務局	<p>特に算数については、南幌町に限らずだと思いますが、なかなか今おっしゃられた、4年生の壁といいますか、そこから結構子どもたちの学力の差が出てくるということで、複数の先生がついて授業を行うところもあると伺っています。これは南幌で展開しているかちょっとわかりませんが、そういった取組みは学校の現場ではやっているのかなと思います。なかなか一方では学校の現場ではカリキュラムがあって、前に進まなければいけない。予定したものがあるということで、そういった現実もあるかと思えます。そういった部分で、南幌町につきましては、ご存知かと思えますが、なかなか学力テストでいい成果があがっていないという実態も踏まえた中で、その学校の事業で理解ができなかった子どもを放課後に特に補完するというところで、ターゲットにつきましては、今申し上げたとおり基礎、基本を中心として底上げをしようというものです。</p>
委員	<p>月に2回ということで、それで成果が上がるのかということです。予算ありきで決まったのか、本当に底上げしたいという気持ちで予算を組んだのか詳しい事情はわかりませんが。</p>
事務局	<p>確かに学力テストの結果がどうなんだというところも確かにあると思います。ただ、いろいろ教育委員会の中でも話し合いがあったとは聞いているんですけども、あくまでもこれは私も補助的なものでしかないということです。今、委員がおっしゃったのは、先生を町でお金を出して、道から来ている先生とは別枠でということもできるのかも知れませんが、それとは別にやっていきたいということです。それと、学校側でも毎年学習を進めていく上で、当然意識をお持ちだと思いますので、それと両方が相まって進めていきたいと思いますというきっかけだと聞いています。勿論これを1年、2年と進めて行った中で、改良点や教科も増えていくことも想定はされます。ですが、まずはスタートしている自治体もあるということで、南幌町としてはやはり学力といえば基礎的な学力、最低限これだけは理解していかないと教</p>

	<p>科書についていけないというところを無くそうというのが大きな狙いであります。これはあくまでも補助的なもので、学校側の方で教育の方をしっかりとやっていただいで、それでもなかなか難しいところを補助する形で考えているということです。委員がおっしゃったところもヒントにしなから、続けて評価も受けながら、進めていくような恰好になろうかと思ひます。まずはこういう形でスタートさせていただきたいという内容でした。</p>
<p>委員</p>	<p>公設ということで、やはりインパクトはあると思ひます。成果とか実績をきちんと出して行かないといけないと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>今のお話で月2回というのは、これと実際の授業、小中学校、特に小学校高学年、3、4、5年生あたりが月に2回そういう補助的な学習をして、それで学力が伸びるかどうかというのはちょっと疑問が湧きます。これは、私の息子、次男をとおしての経験なのですが、数学が苦手で私が教えていたのですが、どうしても理解できないということで、長男に教えるのを代わってもらったところ、どうも最初からわかっていないのではないかとということで、毎日少しずつなんですけれど、時間を取って、最初から教え直していったという経緯がありました。教えて3か月たったころには逆に次男の方が算数をもものすごく好きになつたようなんです。算数、数学の力がどんどんついて行ったという経緯があつて、月2回ということで、特に常設、子ども達といつでもそういうものが相談できる、ちょっと連絡を取れば聞くことのできる親密な関係を築き、その生徒の学力を上げるために何をすればいいのかということを実際に考えられる環境づくりが一番大切だと思ひます。月に2回となつてしまうと、どうにも。そうなるとう解く方法だけを教える、そうするとその後につながらない。そういうような学習になつてしまうのではと思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>私も委員のおっしゃることは一理あると思ひます。ただ、成績が標準の方がいらつしゃつたら、その方をぐつと上げるというよりは、やはりなかなか授業だけではついていけない、学校側の方でもいろいろ取り組みはされていると聞いていますが、それでもなかなか、もちろん家庭でもいろいろやられていると思ひます。そういう人達を底上げしたいという思ひが教育委員会の方にあるということです。先ほど委員がおっしゃつたようなもつと突っ込んでやつた方がいいんじゃないかという部分の考え</p>

	<p>方もあろうかと思えます。民間の学習塾を使うということもあります。後は学校の先生との連携、これがきちっとしない限りは、やっぱり指導、そういったところもできないという形になりますので、まずはそういう連携を図る為に1年間はしっかりとそういう方々と協議をして再来年度からまずスタートしてみても、やりながら教科を増やすのか、もっと違う方法があるのかどうか継続して検討していく形になろうかと思えます。</p>
会 長	<p>あくまでも学習についてこられない子ども達の基礎固め、底上げを行うということですね。</p>
委 員	<p>この年間40回の部分と、それと放課後の学習支援ボランティアの部分と相まって、事業活動として、学力向上を図るという取組みだと思えます。この40回だけでは無く、それに合わせた日常的な無料奉仕の元教員の方などが無料で短時間ではありますが、放課後に教室に集まってくる子ども達に指導するというものというものと両面でこれを考えているのではと思えます。</p>
事務局	<p>その考えで間違いはないと思えますが、小中学校でその取り組みはされているかと思えます。もっと引き上げようという形で、それらは、やはり1年間調整をして、どういうステップで指導していくのか、教えていったらいいのか、実際には民間の方が入ってくることになりますので、そういったところの調整もしながら、総合的に学力の底上げを図っていききたいというのが狙いですので、今委員のおっしゃったところを踏まえた上で、1年間検討させていただいて、それから少なくとも平成30年度にはしっかりとスタートをしていききたいということです。そして、やりながらもいろいろ反省点が出てくるかと思えますので、その辺を見ながら進めるという形になろうかと思えます。まずそういう形でワーキンググループから提案を受けたものを、教育委員会としてもこういう形で検討を進めていききたいということで、事業化という形になったということです。</p>
委 員	<p>質問というか希望になりますが、公設学習塾ということで、これはあくまでも参加を希望する方のみだと思えますよね。「俺は勉強が嫌いだ。やりたくない。」という人が対象にならないんだと思えます。そこをどうやって、この学習塾と連動させていくか、学校側になると思いますが、「ちょっとお前、ここ行って勉</p>

	<p>強してこい」というようなことを、これからの取組の中で、具体的にになっていく中で検討していただきたいというのが一つです。また、成果指標が4ページにあります。今の実績値が小学生39.6%、中学生が53.5%ということですね。1時間以上学習を行っている割合が。目標値は平成29年になると下がっていると。中学生は上がっていますが、後は下がっていると。その翌年以降は40%という形で推移しています。果たしてこのくらいの成果指標の目標でいいのかということです。平成27年度の数值から0.4%しか伸びていない目標設定ですね。果たしてそれが正解なのかということ、今後話が具体的にになっていく中で、もう一回考えていただけないかと思います。もう少し、これを上げなければいけないのではと。</p>
事務局	<p>前段の意見はわかりました。後段の意見は確かにおっしゃるとおりでございます。一旦下がっているのではないかと。それで上がり幅も小さいということで。上げるのはかなり大変ではあるんですが。目標がそれぞれ40%、60%となっていますが、これで果たしてどうなんだというところも確かにあると思いますので、こちらの方は事業シートで後半3月までに整理する内容ですので、その辺はちょっと見直しに向けて担当課と調整させていただきます。ありがとうございます。</p>
会長	<p>その他にございましたら、お願いします。</p> <p>(無し)</p>
会長	<p>(2) 基本構想(素案)について それでは次に行きたいと思います。それでは(2)基本構想(素案)について事務局より説明をお願いします。</p>
会長	<p>資料「【未定稿】第6期南幌町総合計画 基本構想(素案)」1～10ページについて事務局より説明。</p> <p><質問・意見> ここまででご質問、ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。</p> <p>(質問・意見等無し)</p>

会 長	<p>無いようなので次に進みたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料「【未定稿】第6期南幌町総合計画 基本構想(素案)」11～14ページ、17～20ページについて事務局より説明。</p> <p><質問・意見></p>
会 長	<p>ここまででご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>基本理念の「地域に関わる全ての人」とは地域の人全てとは違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>今おっしゃられた、地域の全ての人という形になりますと、基本的には町民、町内にいる方をイメージしているのかなと。ここで使わせていただきます、「地域に関わる全ての人」というのは、町民の方はもちろんなんですけれど、南幌町に関わる人、つまり、南幌町を訪れる人であったり、例えば企業の関係でいいましたら、南幌町と関わり、つながりがある企業、そういった方々をひっくるめた表現とさせていただいているところでございます。</p>
委 員	<p>2番の言葉がピンと来るようでこないといえますか、例えば観光客が地域の将来に責任を持って参加活躍するというのはあるんだろうかといえますか。</p>
事務局	<p>この部分もおっしゃるとおりだと思います。ただ、私のイメージでは、南幌町の企業、人という形なので企業とは読み取れないかも知れませんが、南幌町に関わる企業も一緒になって地域に関心を持って、様々な場面で参加していただき、活躍していただきたいということです。町民あるいは行政、地域と参加活躍して、協働のまちづくりを一緒にやっという思いで地域に関わる全ての人とさせていただきました。</p>
委 員	<p>「責任を持って」というと少し重たい気がしますね。</p>
委 員	<p>土地利用のところで、工業団地のところなんですけれども、今現在北広島市の輪厚、大曲のかなり大きな工業団地にはほとんど</p>

<p>事務局</p>	<p>んいろいろな企業が進出して、北広島の北の里にある、会社関係もそちらの方が広いということで、工場、倉庫を建てたりされているんですけど、基本方針の地図の中にもありますが、ちょっとまだ道央圏連絡道路が未開通ではあるんですが、将来的には繋がるということで、町としましても、この辺の今残っている南幌工業団地の販売にもっと力を入れていけば展開も変わるのかなと。北広島に関しては、ダイワハウスが巨大な土地を買って、それを逆に自分たちで売って、という形でやっていますが、大手の不動産関係へ売り込む形で進めていくのはどうかと、ただ黙って見ているだけでは売れないと思います。</p> <p>道央圏連絡道路には期待をしているところであります。ただ、全部開通するのはかなり先になると想定しています。まだ、公表はされていませんが、今おっしゃるように工業団地の方へ力を入れてやっていかなければならないと考えています。今、いろいろな動きはしております、企業とは何段階も交渉したり、契約に至るまでいろいろあります。そういう交渉をしているところは何社か今あります。ただ、なかなか相手もありますので、お互いの事情だけでは無い事情が相手の企業にもあったりします。こないだもお話ししたかもしれませんが、今年は過去5年間のなかでも、直接問い合わせをいただいたり、ダメになってしまったところもあるんですが、なかなかそこまで至るということはこれまでありませんでした。ところが最近具体的な話ができる。そういった交渉もしていったり、時には町長が出ていったりというところもやれるようになってきていますので、我々も手をこまねている訳にはいきませんので、もっとどんどん進めていきたいと考えています。こちら企業誘致をしながらということも、このまちづくりの大きな一つの要素になるのかなと我々も考えていますので、今のご意見も十分参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>商店街のことですが、町長が来年度ツルハがくるということで、ホームックニコットとスポーツセンターの間にできるということですが。それができると今度Aコープの薬局とお客さんの取り合いになったり、結局Aコープができたなら薬局がダメになったとか、一つ何かができると一つダメになってしまうということで、人口の少ないからしょうがないんですが、共存、どちらも残って欲しい気持ちがあります。利用しない方が悪いんで</p>

事務局	<p>すけれど、ニコットもそうですが、小さいが為に無い商品がいっぱいあります。だから「江別市へ行った時にそっちで買おうか」となってしまう。利用しないとまた閉店になったらまずいと思い、なるべくある物は利用しますが、中途半端なところがあると思います。欲しい商品がなかなか無いのですが、取り寄せもできないということで、もう少し何とかならないのかなと思います。どうしても店の規模も中途半端な印象があります。</p> <p>今お話ししていただいた内容ということで、ツルハの関係です。11月上旬のまちづくり地域懇談会で町長の方から皆さんへお話がありましたが、ホームックニコットの隣ということで今、話を進めています。やはりお客さんのニーズにどれだけ応えられるかというのは、それぞれの自助努力によるところも大きくなってしまおうと思います。それと共存共栄のお話をさせていただきましたが、今の商店街ももっと活気づくことを町長も望んでいますので、そうなって欲しいと思います。住民の方が要望しているのは、もう少しずつでもいいから便利になって欲しいというのは懇談会でも出ていた意見です。少しずついろいろな関係機関と調整して誘致していく恰好になるのかなと思います。</p>
委員	<p>利便性で言うならもう少し店がまとまったところに立地して欲しいです。店の配置もコンパクトにさせていただきたいです。また、時計のバンド交換ですとか細かいことが町内でできないのも気になります。田舎なのはこの町のいいところですし、空気もきれいで交通事故にあう子供も少なくていいのですが不便さを感じます。せっかく来ていただいてもつまらない、不便なまちだと言われたくないです。例えば、あそこの市場に行けば一通り物が揃うようなところがあればと思います。</p>
事務局	<p>空き店舗の事業もありますが、ある店が買い物に行っていたいで残っていただくというのが、いいとは思いますが、それぞれの経営の事情だったり、しょうがない部分もありますが、我々としては便利といいますか、都会のようなどころまでは求めるとは言いませんが、ある程度日常の買い物ができる、それ以外のところは江別市、北広島市など近隣へ車で行くということで。片や高齢者の方はどうなのかということで、通販のサービスも発達してきていますので、そちらを利用していただくのも一つかと思えます。100%のニーズを満たすものを南幌にというの</p>

	<p>はなかなか難しいと思います。できるだけこの商店街が活性化されて、空き店舗のところに皆さんが求めるような、あるいは楽しんでいただけるような店が増えていただいて、委員からもお話があった、シャッターが閉じて、歯抜け状態になってしまうというようなことにこれ以上はしないぞと。我々も努力していくのは、移住、定住者を増やしていくということで、企業誘致も一つのポイントになろうかと思えます。それらをトータルで進めていくというまちづくりになります。都市計画マスタープランは、また別に作業を進めておりますので、そういうご意見があったということは担当の方へも伝えておきます。ありがとうございました。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他に皆さんからございますか。</p> <p>(質問・意見等無し)</p>
	<p>無いようですので次に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料「【未定稿】第6期南幌町総合計画 基本構想(素案)」22～24ページ、25～40ページについて事務局より説明。</p>
<p>会 長</p>	<p><質問・意見></p> <p>ここまででご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願ひします。</p>
<p>委 員</p>	<p>教育・文化分野ということで、ふるさとの記憶を伝える芸術・文化活動の推進とあります。多分これは、今の子どもたちが成長して自分達の住んでいた南幌町をふるさととして、色々な思い出を思い出し、懐かしがり、またUターンして戻ってくるということを期待されているんでしょうけれど、今南幌に住む子どもたちがふるさとの思い出として何か思い出になるようなものというのは具体的にはあるのでしょうか。例えば自分のふるさとに対する思い出として、農家が作った柿を盗んでこっそり食べるですとか。果たしてそういうものが、南幌の町にあるのかなと。今、さっと考えると農業をやっている方がいろいろな作物づくりを子どもたちと一緒に体験するですとか、そういった体験事業の事だと思えますが。例えば、南幌町は青空の下で、広々と</p>

<p>事務局</p>	<p>した土地がありますが、土地が広すぎるということでそれが子ども達にどれだけのインパクトを植え付けているのかなど。子ども達はその広い土地に対してなかなか馴染めていないのではと。例えば四季折々に変わる自然の状況を子どもたちが感じられるまちであるですか、そういったものが具体的にあるのかなど。ケーキ作りを行うですか、いろいろなイベントがあるのはわかりますが、子ども達が自然と戯れるようなイベントはあまり見ていない気がします。その辺を発展させられればなど。南幌を取り巻く自然環境を子どもたちが感じられるような「南幌にはこういうものがあって大切にしていこう」というような運動、環境づくりが必要だと思います。最終的には南幌の子どもたちが、「南幌にはこういう小さい頃の思い出がある」という環境づくりを積極的に進めていただきたいと思います。以上です。</p> <p>ふるさとの記憶というのは、個人的な考えですが、自分の心象風景だと思います。子どものときの思い出、体験というような。そういった記憶の部分と、山、川といったビジュアルの部分と。南幌には山はありませんが、水田、農地が広がっているということで、私は子ども達にとっては立派な心象風景のひとつになるのではないかと思います。これほど広大な水田があって、それが身近に広がる地域はなかなか無いと思います。一方で、南幌の地域特性として緑が豊かな、水田が広がる場所に住みながら、都会も近い、近接しているという地域特性があると思います。緑豊かなところに住みながらも1時間くらいで札幌に行くこともできると。こういう生活を送れるというのはなかなか北海道が広いといってもこの辺でしかできないと思います。例えば私は滝川市出身ですが、札幌へ行くのは1年の内何回あったのかと。そういったことを考えますと、南幌はすぐ都会へも行けますし、戻ってくればこういうみどりの広がるまちでもあるということで、そういったビジュアル的な部分、あるいは記憶の部分もあると思います。そして、思い出に残る体験という部分では小学校で5年生を対象として、学習田、田植えの授業をやっています。農家のお子さんでは無い生徒でも身近に田んぼに触れられると思いますし、実際に食べている給食も南幌産のお米を使ったりですか、南幌の食材を使ったり、そういう部分で南幌を強く意識しながら、育っているのかなど考えています。なかなかそういった部分で、ふるさととか、単に教育に限らず、幅広いものがあるかと思いますが、あくまで個人的な主観ですが、南幌の子ども</p>
------------	---

<p>委員</p>	<p>は都会の子どもたちには無いような体験も十分送って生活しているのかなという思いはあります。</p> <p>鳥取県か島根県だったか忘れてしまいましたが、子どもたちが戻ってくる為の教育をしているところがあるようです。それは大人になって、自分のふるさとに戻ってくるという、そういう教育をしていると言い切っている町だったと思います。確かに昔そこで育った子どもたちが帰ってきて、そこで新しい事業展開を行っていく、そういう取組みを行っているところがあると聞いた時に南幌で子どもたちが戻ってくるような魅力あるふるさとになれるのか。そこが私が心配をしたところでありました。そういう意味ではそのシステムを少し考え直さなければいけないなど。そういうものを子ども達に植え付けていく、そういうものができたらいいなという気がします。</p>
<p>会長</p>	<p>私も子どもたちが皆札幌へ出て行ってしまっていますが、自分が育った田舎の良さは、いる間は感じないのかなと思います。一旦札幌、東京といった都会へ出て、そこからふるさとの思い出、いい部分というのが心に残っている部分が出てくるのかなと。いかに、個人差はあると思いますが、最終的に鮭がふるさとへ帰るのと同じで、その人の心の中に植え付けられているふるさとの魅力がそこで出てくれば、先ほどおっしゃったように南幌は都市圏に近く、静かなところに住んで、仕事は札幌へ行こうというような心構えにもなってくるのかなと感じました。</p>
<p>委員</p>	<p>雇用ですよ。戻ってきても仕事が無いと。</p>
<p>会長</p>	<p>南幌自体にそれを求めるのは難しいかもしれません。</p>
<p>委員</p>	<p>札幌に近いという地域性を生かしたいですよ。</p>
<p>委員</p>	<p>その鳥取県か島根県の村だったかは、そこで雇用が生まれているかというところではなくて、ド田舎で、そこで育った子供たちが都会へ出て帰ってきて自分達の事業を始めるという感じだと思います。その周りで小さいながらもきちんと雇用が生まれるということです。</p>
<p>会長</p>	<p>島根県の田舎の村ですよ。この間テレビで私も見ました。ま</p>

	<p>ずはインターネットのインフラが十分に充実していて、パソコン一つで仕事ができる、現場へ行かなくてもそこで仕事ができるというものですよね。ああいう魅力的な仕事をしている人たちはやっぱり、ああいうところを好んでということになると思います。南幌はインターネットの光回線もまだまだ、農家地区には届いていないです。それもやっぱり行政も働きかけて、整備していただきたいとお願いしたいです。</p>
委員	<p>少なくともどこでもWi-Fiが全員無料で使えるようにですとか。</p>
会長	<p>実はうちの子もオランダにいるんですけど、オランダと東京を行き来していて両方で仕事をしていて、パソコンを使って仕事をしているものですから、そういうふうに出る子どもたちは世界へ飛び出していく時代なのかなと。そういうところから整理していただけたら、若い人達も来るのかなと。</p>
委員	<p>もう少しインターネットが自由に使えるような。役場庁舎内に入れば、ちょっと立ち寄れば南幌の情報に端末からアクセスできるような。</p>
会長	<p>便利な世の中になってきていますからね。それでは、その他にご意見、ご質問等ございますか。</p> <p>(無し。ここで10分休憩。)</p>
会長	<p>それでは会議を再開します。事務局より説明をお願いします。</p> <p>資料「【未定稿】第6期南幌町総合計画 基本構想(素案)」15～16ページ、参考資料「第6期総合計画の策定に係る将来人口の設定について」について事務局より説明。</p>
会長	<p><質問・意見></p> <p>ここまででご質問、ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>住宅未建設宅地についてですが、これはどうして建ててもらえないのでしょうか。175区画もあるということですが。</p>

委員	私からもその関係についてなのですが、まだ建てられていない宅地ということですが、個人の所有が多いのか不動産会社等の企業による所有が多いのかについてはわかりますか。
事務局	<p>まず、どうして分譲済みなのにまだ家が建っていないのかということについてですが、南幌町の宅地が爆発的に売れた時に、実は本州の方もかなり、そして道内でも遠方の方にも買われているということです。爆発的に売れたのはバブルの時期だったんですが、やはり経済的な情勢が一変したので、なかなかすぐに遠く離れた南幌町に家を建てられないという方がなかなか多いのかなというのが一つです。必ずしも遠方に住まわれている方ばかりではないのですが、やはりこの経済情勢の中で、なかなか土地は買ったものの家を建てるには難しいといった状況だと思います。土地よりも家を建てる方が当然お金もかかるのでなかなか先立つものが無いという方もいらっしゃるのかなと。</p> <p>また、その所有についての区分けですが、細かい数字の把握はしていないのですが、個人所有者の方がかなり多いという状況です。</p>
委員	土地を持ってきているということは、固定資産税は入ってくるということですよ。
事務局	そうです。
委員	確か購入の契約を結んでから5年以内くらいに建てなければいけないという取り決めがあったと思います。
事務局	昔はありましたが、今は。
委員	中央団地だけだったと思います。
委員	北海道住宅供給公社で分譲している方にもあったと思います。
事務局	今はありません。何年以内に建ててくださいということでは。
委員	投機目的で買ったものの結局価値が下がったので売っても損ということで売らないでそのまま寝かしているということです。

	<p>よね。固定資産税も安いので。価値が上がるのを待っていても上がらないでしょうし。</p>
<p>委 員</p>	<p>固定資産税が入るだけ、いいのかも知れませんね。</p>
<p>委 員</p>	<p>最近新しい家が建っている様子を見かけても、結局町内の人だということが多いですよ。町外の方ではなくて。それでもポツポツとは建ち始めていますよね。なかなか厳しい時代ですね。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に質問が無いようですので、続きについて事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>資料「基本構想 重点プログラム」について事務局より説明。</p>
	<p><質問・意見></p>
<p>会 長</p>	<p>ここまででご質問、ご意見等ございましたらよろしく申し上げます。商工会の立場からはいかがですか。</p>
<p>委 員</p>	<p>いろいろ頭をひねって考えてはいるのですが、やっている方も高齢化が進んできているということで、次に繋ぐ方もいないのが。役場の方にも空き店舗についての対策を考えていただけるということではあるんですが、これからどうなるかはわかりませんが、そういう部分の活用についてですよ。中央通り商店街については小売店が町内にはほとんどない状況です。これでツルハに来ていただくことで変わっていくかもしれませんが。そういった部分で今商店をやっている方の次の担い手がないという状況です。一時は南幌の農家の方々も後継者がいないということでしたが、今はかなり戻ってきているということで、商店街もそういった部分で考えていかなければいけません。他の商工会とも連携を取ってやっているんですが、この近隣の商工会でも先般、南南空知の長沼町、由仁町、南幌町で情報交換を行ったのですが、その中で長沼町が全国の商工会連合会の中で今回準グランプリということで、全国5つの商工会から選ばれ、今年東京で表彰式がありました。長沼町は夕やけ市をやっているということで、そのことについて準グランプリを受賞することになりました。逆に我々も参考にしないといけないという点もあります。そういった部分で連携を図りながら、単体では</p>

	<p>なかなか難しいところがありますから、お互い協力していくということで、前を向いてやっていきます。長沼町商工会は賞をいただいたことで、全国から視察に来るのではないかとということで、そういった部分での支援のお願いもありまして協力していくことになるのかなと。隣町ですので南幌もそれに続くように連携を取り、やっていかなければ。だんだん寂れていってしまいますからね。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは銀行の立場からはいかがでしょう。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料を拝見させていただいて、若い方が、比較的40代、50歳未満の方々に関してはこの町が非常に大好きなんだという印象を受けました。行政の取組みについてすごく評価しているということがアンケート結果を見るとわかりました。それはすごくびっくりしました。ただやはり、全世代を通して、商工業の推進、医療機関充実についての満足度は低いということで、当然できることとできないことがありますし、全世代にというのはやはりなかなか大変だということで、そこで「まずはこれからやりましょう」というようなメッセージがあるといいのかなと。ここにもすごくいいことは書いてありますが、悪く言えば総花的過ぎて、なんだろうという印象も受けるのかなと。先ほど商店街のお話も出ましたが、どこの町でも同じで、栗山町でも長沼町でもそうですが、妙案は無いと思います。僕らのような外野の人間がどうこういっても成功するかは怪しいので、やはり町の人が真剣に考える、商工会の方だけでは無くてそこに住む方みんなが全員で考えないとやはりダメなのかなと。ツルハができたからどうこうではなく。本当に町の人たちが商店街が必要だと思うなら、みんなで考えるべきかなと。</p>
<p>委 員</p>	<p>そうさせる為にどうするかということですよ。</p>
<p>委 員</p>	<p>ここでとある町の取組みについてなんですけれど、こういう商店街のイベントとなると、商工会の方々だけか、せいぜいプラスアルファで行政の方がやるというというような形態が多くなります。伊勢神宮の町、伊勢市はそこに銀行や若い人達と一緒にやって進めていきたいと思いますということで、そういったところを3年くらいかけて一緒にやっていくということで、そういうプログラムを立ててやっていかないと、誰かやってくれるんだろ</p>

	<p>うなど考えているようでは無理だと思います。若い人たちと絡ませることが必要だと思います。また、今回栗山町の話になりますが、日本ハムファイターズの監督のパレードを金曜日にやるのですが、行政でもなく、商工会でもなく、若い有志の方々が日本ハムファイターズを応援する会の方々が自分たちで動いて、パレードを行うということで、そういうことが大事だと思います。</p>
会 長	<p>できれば南幌も若い人たちが、何かを掻き立てるような一つの動きがあればいいですね。</p>
委 員	<p>今年あった「野祭」は若い人たちがやってくれてびっくりしたんですよね。</p>
会 長	<p>あれは続けて欲しいなと思います。</p>
委 員	<p>家庭を持っている方もいますからね。やはり奥さんの理解も無いと準備もできませんからね。あれは感心しました。</p>
会 長	<p>やっぱり何かをやるとなるとエネルギーがかかりますよね。</p>
委 員	<p>時間とお金がかかりますよね。長沼町の夕やけ市は商店もそうなんですけれど、一般の方もいろいろなものを持ち寄ってフリーマーケットのようなものもやったり、結構あれは20年くらいやっていて、当日町外からもお子さんを連れてくる方もいらっしゃるようで、長沼町内ばかりではなく、子どもだけで5,000人くらいものすごい人が集まるようです。当然道路も封鎖してやりますから、行政もかなりの協力体制を取ってやっていますから、いろいろな部分で一体となってやらないと単会だけでやれといっても、労力も限られますし、いろいろな部会の人達が集まってやらないと。今、商工会の青年は人数が1人しかいません。8、9人ですので、後の残りのメンバーは60代になるのかなど。逆にそういった部分で農協の青年部ですとか、役場の若い方々が集まって一つのものやっついていかないとなかなか難しいと思います。これからは単会だけでは難しいです。</p>
会 長	<p>重点プログラムの中に入れたらどうだろうというものはありますか。</p>

<p>委員</p>	<p>このプログラムの1つ目の「次代を担う子どもの育成プログラム」はわかります。ただ、2つ目の「安全・安心、いきいきと暮らせるプログラム」3つ目の「にぎわいを生むプログラム」を実践していく為にはどうすればいいのかということ考えた時にこれらを担う人材育成が必要だと思えます。人材育成をどうするかということについて、どこかに記載があるべきだと思えます。この後の施策の体系の中で、育成という言葉がついた部分が2つありますが、行財政分野の中にある、「町民ニーズに対応できる職員の育成」、産業経済分野の「経営基盤の強化における担い手の育成」とこの2項目だけしかないの、他の部分にもそれらを進めていく為に、どんなことでもお祭り一つにしても、それを進める、担っていく人材というのを育成していかなければなりませんし、それを継承していかなければならないというものがあるのではと思えますので、この人材育成というものを根底に据えていかなければならないのではと思えます。そして、どういうふうに位置づけるのかということも検討しなければいけないと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>第5期総合計画の時は、今と実は構成が変わっておりまして、その中の1つのプログラムの中に「リーダー的人材の活用と育成」という言葉がありましたが、敢えて今回こちらの案に載せていなかったのですが。6年前につくった時に、やはり同じく審議会の委員からリーダーの育成、ただどうやっていけばいいのかということですが同じように具体的にやるのはなかなか。それぞれ今やっているお祭り、今ある各種団体がありますので、そのリーダー、担い手ではなくて、リーダーを育てていかないといけないというのは今までの中に盛り込まれていて、今回外してしまったのですが、そういうリーダーの後継者、言葉でしか書いていないというご意見もありました。まちづくりのリーダーをいろいろな場面で生かして行こうというような言葉でしか、そういうような書き方でしか以前は書いていなかったのですが、この当時は町民のリーダー研修などもやって、特に教育部門でそういうこともやってはどうかということで、前の計画に載っていたんですね。今回確かに具体的には人材の方はどうなのかということを確認に謳っていない状況なんです。</p>
<p>委員</p>	<p>社会福祉の面において、これからはお互いに地域の中で支え合って、進めていきなさいということが大きな方針ですので、そ</p>

<p>会 長</p>	<p>の中で、やはりその町、その地域をそうやって持っていく為には、やはり地域の人材を育て、またそれを繋げていかなければならないというのを大きな柱として出すべきだと思います。</p> <p>今の委員のご意見の人材の育成について皆さんからご意見がございましたら、お願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>まさにそのとおりだと思います。ここまでの提案ができるのに、どうして今の南幌町の現状を見た時にどうしてももう少し早くやらなかったのかなと。先ほどあった長沼町の夕やけ市についての今回初めて官民一体になって、夕張市の事業と被ることに危機感を持って、今回初めて全体の中で取り組んだ結果が5,000人以上の人が長沼町に流れ込んできたということは、南南空知で一つの物事を考えた方がこの問題については南幌町だけの問題では無くて、北海道150年をもう少しで迎えようとしている中で、もう30年もすれば人口500万人も切るということをいっている訳で、今550万人はとうに切れていて、530万人くらいだったと思います。北海道の人口はほとんどが札幌市、近辺へ集中していて、人口がない状況の中で、郡部の市町村が町の問題として、大きく考えているのは非常に町民としてありがたいことですが、1市町村で考えるレベルではもう無いのかなと。広域的に物事を考えていかないと、先ほどから人を呼び込むですとか、住みやすい地域にするだとかというのは、交通網の問題もあれば、やはり広域としてどう連携を取るのかということをもう少し広角的に物事考えていかないと、大きな答えは出てこないと思います。先ほど買い物についての話が出ていましたが、飲食店、北海道でも屋台村というのをつくっているところがありますが、それは非常に好評で、そこを巡ればその町のいい物、悪い物含めて話を聞いて、そののまの食材を食べながら歩けるとい、非常に安価な値段で飲食ができるというのは観光客にも好評で、人を呼び寄せるといのは、そういうものの考え方をできる人でやっていかないと。いろいろな人の意見を聞きながら、最後はこの当事者としてしっかりとお話をし、確実に進めるということが無ければ、いつまで議論していても、また5年後も同じ話をしていると思います。現状がこんなふうになってしまったというような。本当にやるんだという緊張感を持ってトライしていくべきです。</p>

事務局	<p>ただ今、いろいろなご意見をいただきましたが、これは第5期総合計画の審議会の時も、どうしても力不足で申し訳ないのですが、行政だけでは絶対にできないんです。この審議会の方の最後の時に今回と同じ議論をしています。なので、そう考えると若手の人たちが集まって先ほど委員もおっしゃっていた、商工会、役場、企業の若手、中堅の方々、それをきっかけにするのが町なのかもしれないですけど、町と農協ですとか、そこをやった時に何か知恵を出して、そういう経緯から昔は冬まつりをやったり、いろいろあったということで認識しています。やはりそれを考えると、何かできるのではないか、その時に何かサポートするのは町だったり、あるいは農協だったり、本当にもっと上の方が、さきほども言っていたかのように。この仕組みは誰かが動かないと変わらないと思います。そうすると委員のおっしゃるとおり、書いてあるのはいいけど、結局動かないねというところなんです。実際、行政を動かすだとか、商工会、あるいは農協の職員の方を例えばそういうもので惹きつけるのであれば、住民の方、団体の方で、どういうことで動いていけば、ちょっとこの町が変わるのか、何をするという事ではないと思います。きっと何でもありだと思うんですけど、先ほど委員がおっしゃいましたが、どうやったらみんな動くのか、あるいは少し動いてくれる団体ができるのか、例えば、町でも農協でもサポートできるわけですから、もっともっとうこういう団体が多く増えてくれることを望んでいます。ただ行政の力不足で、皆さんそれぞれの立場があると思うんですが、やはりそれを動かす為には、いろいろなことを、何か今の人材育成に兼ねて、何かこういうことをやったらいいというものをこのプログラムの中に、別のプログラムを一本作ってもいいのかも知れませんが、「何かこういうことで、事務局検討してよ」ということを言っていただくと、大変助かるのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>以前北広島市が広島町だった時代ですが、私はJ Cに入っていました。このときに広島町のふるさと祭りをやるにあたって、どうしたらいいのかということで、J Cも参画して入ったのですが、その時にいろいろな意見があって、やはり役場でとにかく主管を取っていただいて、その中で例えば、商工会やJ C、建設業協会等のいろいろな単会が集まって、いろいろな意見を出し合って、町が主管を取ってやると。そうすると、頭が一つになるので、きちっと統制が取れるということで、逆に南幌町でもそう</p>

	<p>いった部分で、観光協会ですとか、そこで主管を取って、それでいろいろな単会を集めて、進めていくと。そういったものからまずやっていかないと、商工会だけでやるのは限界があるので、あくまでもこの小さな町でやるのはどうしたらいいのかということで、役場で主管を取ってやっていただきたいです。そういった部分で声掛けして一つのものにしていきたいです。</p>
<p>委員</p>	<p>冬まつりについてですが、今のスポーツセンターの駐車場ではなくて、中央公園でやるのはいかがでしょうか。雪遊びの仕方を子ども達に教えるのはどうでしょうか。山があるので、チューブ遊びをさせるのもいいと思います。また、スノーモービルは中央公園でやった方が子ども達にとっても楽しいコースになると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>そういった部分でも、いろいろな単会が参画して、雪山をつくるにしても、建設業協会で行っていただいたり、あとは商工会でものを売ったり、そういった部分でやはり、役場が主管をとってやるべきです。その方が物事もまとまります。</p>
<p>委員</p>	<p>スノーモービルはどちらの団体で行っているんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>青年団体協議会でやっています。スノーモービルはそうです。</p>
<p>委員</p>	<p>あれは青年団体協議会は大変ですが、あれに他の単会が集まってということになると、もっと大きなものになると思います。そういった横の繋がりが無いものですから、お互いに協力してやるともっといいものができると思います。結局町が頭になれば皆さんそれに付いていきますから、商工会がやってもなかなか他の団体は集まりませんから、それは町が主管を取ってやらないと絶対にだめです。町はこれまでなかなか手を上げてきませんでしたが、毎年商工会でビールパーティーもやっていますが、あれも絶対役場が主管をとってやらないといけません。もっといいものができると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>昭和新山の雪合戦もありますよね。建設業協会でも盛り上げていますが、それにくっついてスノーモービルも動いているようです。</p>

委員	今の冬祭りは定着していますから、あれをもう少し盛り上げてやれば楽しい冬まつりになると思います。
委員	あれはやっている人たちも手応えをすごく感じているようです。子ども達もすごく喜んでいます。
委員	冬はトイレの問題もありますよね。それは町にお願いしてちょっと負担していただいて設置していただいて。あれは冬の間ちょっと、結局水道が凍結してしまうからだと思いますが。
委員	ビューローのトイレを使えばいいと思います。
委員	ビューローは少し遠いと思いますので。
委員	中央公園のトイレをその時期だけでも使うのはどうでしょうか。
委員	冬は水道管が凍結するので水を落とされていますから閉鎖してしまっています。工事現場で使うような汲み取り式のトイレを設置するのはいかがでしょうか。それは町の負担になってしまうと思いますが。
委員	昔は中央公園でやっていましたよね。ただ、駐車場が無いから今のスポーツセンターのところに移動した経緯があります。
委員	スノーモービルだけでも何とか。
委員	スノーモービルも昔は中央公園の中を走っていましたよ。
委員	トイレと駐車場ですよね。
会長	その他皆さんからありますか。
事務局	人材の育成、あるいはリーダー育成。役場、観光協会なり、ただ、それぞれの立場もあるかと思いますが、本当に町が提案するのを待つのではなくて、どこかで本当にお偉いさん方の会議でやってもなかなか進まない場合もありますし、本当に出来るだけ中堅、あるいは若手の人達の話の話を皆さんには恐らく汲み取っ

	<p>ていただいたり、そして、いろいろな人に相談できる立場かと思っていますので、何がきっかけで広がっていくかわからないので、最終的には町が主になるかも知れませんが、前に言った農協かもしれないが、いろいろ共同で連携したり、誰かが頭を取るかは別にして、各団体のアイデアが出てきて検討するというふうになると、ものごとが動いたりすることでできることもあると思います。各団体、声が掛かるのを待つだけでは無くて、いろいろな場で話をさせていただくというものも必要だと思います。委員からいただいたご意見ということで、プログラムを別にするか中に入れ込むかはちょっと事務局で改めて検討させていただきたいと思うのですがよろしいでしょうか。ちょっと次回会議をやった時にお示しする形で提案をさせていただきたいと考えていますので、よろしいでしょうか。次回までには。</p> <p>(了承される)</p>
<p>4 次回の日程 会長</p>	<p>それでは議案4、次回の日程について、事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回審議会の日程の前に、当面の総合計画に関するスケジュールについてお話しさせていただきます。本日、ご協議いただきました内容につきまして、来週の12月27日に議会の全員協議会の開催が予定されていますので、そこでお出ししました資料の内容について説明する予定となっております。また、その後年明けの1月1日から27日までの期間でパブリックコメントということで、町内の主要施設、あるいはホームページに今回説明させていただいた内容を町民の方にもご覧いただきまして、意見を求める予定となっております。それらを踏まえ、次回の審議会の開催日程についてですが、今回事前にお配りした資料の中に日程確認表を併せて入れさせていただきました。本日欠席された委員もいますし、まだ全員の方からいただいている部分もあるのですが、いずれにしても欠席委員の日程も含めて、早急に、もう年末ということで差し迫っておりますので、明日か来週の早い段階でこの日ということで文書を以ってお話しさせていただければと思います。今上がってきている日程を踏まえた中では、全員の委員が揃う日が無いということで、なので一番多い日を1日、2日ご相談させていただいて、もしかした</p>

事務局	<p>らこの日どうですかというお話をさせていただくかも知れませんが、その辺は含みを持たせていただきたいです。</p> <p>なかなか皆さん揃う機会も無いのでこの場である程度決めさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>※日程調整の結果、2月7日の午前に開催する予定となった。</p>
事務局	<p>今日欠席した委員も含めできるだけ早いうちに正式に文書を送付させていただきます。次回は町長も入り、皆さんからの答申という形で進めていきたいと考えていますので、宜しく願います。</p>
5 その他 会長	<p>その他ございましたらよろしく願います。</p> <p>委員の報償費について事務局より説明。</p> <p>◆会議を中断し、事務局退席のうえ、委員同士のフリートークが行われた。(非公開)</p> <p>(再開)</p>
事務局	<p>1点だけ訂正をさせていただきたいと思います。資料「ワーキンググループ提案事業検討状況報告書」の3ページ、施策のねらいと展開方向の一番下にアンダーラインがありましてこの中の記載に、下から2行目「ともに、学習が困難な児童生徒の学習支援を行います。」となっていますが、「学習が困難な」という表現を削除願います。と申しますのも、当初この事業につきましては、家庭環境も含めて学習が困難な児童生徒を対象にしようかと、ワーキンググループからの提案があったのですが、最終的に担当と検討した結果、入口についてはあくまでも広くということで、そういう家庭の事情等なども考えずに入口を広くということで、希望する児童生徒については受け入れるという考えに至りました。当初、学習が困難なというふうにワーキンググループからの提案を踏まえてこの記載があったんですけども、その後削除になっていますので、そういう経過も踏まえてこの文言を削除いただければと思います。</p> <p>もう1点は先ほど委員から基本理念のところ、「地域の人々</p>

6 閉 会 会 長	<p>全てが」というところが分かりづらいということで、今内部でも話してちょっと意味合いがしっかり書いていない部分もあるものですから、こちらの方は地域の人々がというような形の方向で修正をさせていただきたいと思います。</p> <p>また、先ほどの重点プログラムについては、事務局でも内部で検討させていただきまして、次回の審議会時には明示させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。</p> <p>それでは、第6回南幌町総合計画策定審議会を終了させていただきます。皆さんお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--------------	---